

コムワンだより

H30.4.12
No.74

マンションの資産価値をさらに向上するため、防犯・防災対策の観点から、各設備の性能が大きく進化しています。例えば、IT 技術を搭載した多用途利用が可能なネットワークカメラや、一定の避難時間を確保できる分電盤内蔵タイプ感震ブレーカーなど、従来の設備より優れた商品が次々と登場しています。

ネットワークカメラ

インターネットへの接続により、遠隔地からスマホやパソコンで見える防犯カメラです。



進化する機能

従来の防犯カメラと比べると、高画質と広角レンズを採用しているので、より鮮明な画像で広いスペースが見える。

約6倍

ネットワークにつないだカメラを室内に設置すると、留守中の様子がスマホや PC で確認できる。

便利な機能

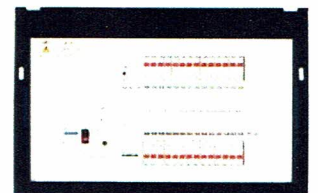
クラウド型なので、録画機等の専用設備が不要
少ないコストで導入可能

内蔵マイクとスピーカー付きなので、スマホからカメラの先に呼びかけができる

映像を家族や設定したメンバーとシェアすることが可能

分電盤内蔵型感震ブレーカー

震度 5 強の揺れを感知した場合、自動的にブレーカーを落とすことで電気の供給を遮断し、通電火災を防止します。避難時、ブレーカーを切り忘れても安心です。（*通電火災とは、電気が復旧した際に転倒・破損した家電に通電することで火災が起きる現象です。）



進化する機能

揺れを感じてからブレーカーの遮断まで、一定時間の猶予があります。この間に必要な防災用品を携帯して避難する事が可能。

バチッ

ブレーカーを自動的に遮断するので、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に通電火災を防止する有効な手段。

作動メカニズム

- 基本動作
震度 5 強の地震を感知した後、一定時間後にブレーカーを遮断。
- 停電が発生した場合
警報の報知中に停電が起こった場合には、復電時にブレーカーを即遮断。
- 安全確認ができた場合
地震感知後、一定時間以内にリセットボタンを押すことで警報・ブレーカーの遮断を停止することが可能。

通電中 → 警報中 → ブレーカー遮断 警報 OFF

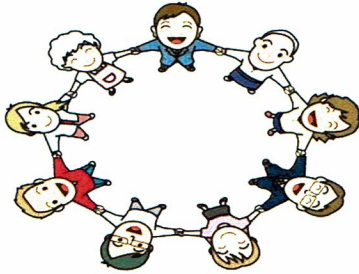
停電 → 復電直後 → ブレーカー遮断

通電中 → 警報中 → リセット

コムワンだよりのお役立ち情報

～マンションにおけるコミュニティの形成について～

H30.4.12
No.74



コミュニティの重要性

居住者間のコミュニティが活発になると、日常生活だけではなく、災害や緊急時等、非日常的な場面でも、その力が発揮されることが多いようです。

日常的にコミュニケーションを取っておくことにより災害発生時等に「共助」が生まれ、助け合いの体制を構築することができると考えられます。

マンションで行うイベント等は、居住者同士が出会える機会となり、コミュニティを形成するには効果的な方法の一つです。

コミュニティから共助へ

いざというとき、迅速に救援活動を取り組むため、共助力をどう発揮するかを確認しましょう。

マンパワー：

災害時には閉じ込め救出・負傷者の救護・物資の搬送など、マンパワーを欠かすことができません。日頃からどのように協力し合うのか、仕組みと方法を考える必要があります。また、マンションでは多くの方が生活しており、災害時に役立つ知識をお持ちの方、電気工事や医療に従事された経験のある方など、能力(スキル)を持っている人がいらしゃれば、効率的に協力体制をつくることも可能です。

情報：

災害時、外部からの情報取得が難しくなることもあり、場合によっては情報が錯ち、混乱する可能性があります。個々が持っている断片的な情報でもうまくつなぎ合わせれば、有益なものに変わります。コミュニティが情報の交通整理の役割を果たしてくれる事もあります。

安心感：

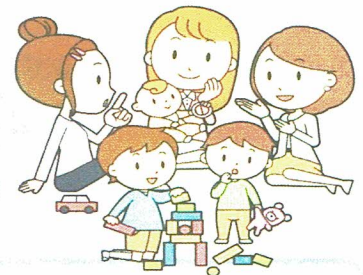
日頃から良好なコミュニティが形成されていると、災害時にも信頼できる仲間や頼りになる人がいるだけで安心感が生まれ、冷静な行動につながります。

コミュニティづくりについて

イベントを定期的に行うことが居住者同士の交流を増やし、コミュニティづくりのきっかけとなりえます。マンションの規模や築年数によって居住者の世代はさまざまです。価値観や暮らし方も多様化するので、それぞれのマンションに合わせたマンションコミュニティを形成していきましょう。(以下の例をご参考ください)

サークル活動

子育て、旅行、料理や囲碁など、各世代が共通の趣味で集まる場をつくり、お茶会やサークルのような活動を行うことで、お互いの交流を深めます。



イベント

マンションで防災訓練を居住者参加型イベントとし、「消火器の使い方」や「AEDの使い方」などを定期的に実施します。このような体験型イベントを通して、楽しみながら訓練ができ、マンションの防災力も高まり、「助け合えるコミュニティ」を作りたいと思います。

●参加率アップのコツ

1. 居住者への周知:「ロコミ」は集客の有効な方法です。イベントに参加が決まっている方がご近所で誘い合わせてもらうと、イベントの参加率の向上につながります。
2. 居住者が参加しやすくなる工夫:持ち物が少なく、身軽に参加できる内容を考えます。また、子供の遊び場を用意する事で、子供の手が離せない方も安心して参加できます。

●安全が第一

実施場所を決める際やイベント当日も事故が起き得る箇所は大人が見守るなど、子供たちの安全を確保することが重要です。

Points!

注意事項